

## A重油の購入に関する仕様書

1. 性状
- 1) 一般性状
- ア. JIS1種1号の規格を満たすこと。  
イ. 商品規格として硫黄分が0.4%以下のものを選定すること。  
ウ. 10月～3月の各月において納入されるA重油を構成する各ロットの硫黄分データを納入時に提出すること。
- 2) 動粘度
- ア. -20℃での動粘度が40cSt(40mm<sup>2</sup>/s)以下であること。  
イ. 10月～3月の各月において納入されるA重油を構成する各ロットの50℃、0℃、-20℃での動粘度(実測データ)を納入時(またはできるだけ早期)に提出すること。ただし、ロット数が月当たり複数ある場合は、それらの中からランダムに選んだ2ロット分について提出すればよい。
- 3) 元素分析値(CHNO)
- 10月～3月の各月において納入されるA重油を構成する各ロットのそれぞれについて、炭素(C)、水素(H)、酸素(O)、窒素(N)の元素分析値を提出すること。
2. 納入
- 1) 納入の形態 16kLまたは24kLのローリーにて納入すること。  
2) 納入先 苫小牧市真砂町12番地 日本CCS調査(株)苫小牧実証試験センター  
添付図参照のこと。
3. 購入の概要(ローリーサイズと1日当たりの納入頻度の推測)

年	2015年				2016年			合計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1か月あたりのA重油量(kL)	0	313	2,004	1,003	370	540	882	5,112
1日の最大A重油消費量(kL)	0	46	77	59	28	28	28	

## 【16kLローリーの場合】

年	2015年				2016年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日当たりの納入頻度	日数						
1回/日 0～16kL/日	0	27	0	3	0	0	0
2回/日 16～32kL/日	0	0	0	16	13	17	31
3回/日 32～48kL/日	0	4	6	2	0	0	0
4回/日 48～64kL/日	0	0	0	7	0	0	0
5回/日 64～80kL/日	0	0	24	0	0	0	0

16kLローリーを確保いただく最大日数→ 計31日 計30日 計28日 計13日 計17日 計31日

## 【24kLローリーの場合】

年	2015年				2016年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日当たりの納入頻度	日数						
1回/日 0～24kL/日	0	27	0	6	0	17	0
2回/日 24～48kL/日	0	4	6	15	13	0	31
3回/日 48～72kL/日	0	0	13	7	0	0	0
4回/日 72～96kL/日	0	0	11	0	0	0	0

24kLローリーを確保いただく最大日数→ 計31日 計30日 計28日 計13日 計17日 計31日

## 4. 備考

弊社のA重油貯留タンクの有効タンク容量(LLL～HLL)は120kL。

納入に際し、弊社社員が立ち会いますが、タンクへのA重油移送作業は納入業者にて実施すること。

#### 5. 納入依頼方法

日々の納入依頼は、前日10時までに書面(FAX又はE-mail)にて行い、日曜日及び月曜日納入分については、金曜日14時までに連絡するものとする。

#### 6. 納入日

プラントは土日・祝日・年末年始等関係なく24時間体制での操業を予定しており、応札者は納入日について対応可能な体制をとること。ただし、安全のため、原則として8時～16時の間に納入すること。有効タンク容量を勘案し、当社担当者との協議により、納入日、納入時間帯を調整することは可能。

以上

#### 添付資料

- 1.敷地全体図その1
- 2.敷地全体図その2
- 3.A重油タンクT-33-001周辺図
- 4.注入口図
- 5.アースリール図

# 日本CCS調査(株)苫小牧実証試験センター

